

図画工作

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	図工 101・102	A4 112	平成31年
116	日本文教出版	日 文◆	図工 103・104	A4 130	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作 採択資料

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	116 日 文
内 容	協働的な活動を扱っている箇所数	☆	44 ☆☆ 69
	日本の作品や文化を扱っている箇所数	☆☆	12 ☆ 4
	諸外国の作品や文化を扱っている箇所数	☆☆	6 ☆☆ 6
	「表現」の内容別題材数	☆☆	47 ☆ 43
	「鑑賞」の題材数	☆	2 ☆☆ 4
構 成 上 の 工 夫	冊子のつくり、教材配列	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、育成する三つの資質・能力について具体的に表記するとともに、各題材で特に重点を置くものには、下線を引き、色を変えて表記している。 ・題材ごとに「学習のめあて」が示され、各ページの下に、「ふりかえり」項目があり、自己評価ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、育成する三つの資質・能力について具体的に表記し、各資質・能力ごとにマークを定め、提示している。 ・題材ごとに、活動の過程が分かる写真と、それぞれの場面で何を意識するかが分かる児童のつぶやき等を対で掲載している。
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてが明確に提示され、題材の末尾には、児童自身が表現や鑑賞の学習を通して培ったことが確認できるように「ふりかえり」のページを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①学習を見通す／振り返る場面、②友だちと対話する場面、③児童が考える場面／教師が教える場面などにおいて、どのように取り組めばよいのかが分かる写真やコメント(児童やキャラクターのつぶやき等)が掲載されている。